

TAKE FREE

メルディア | 一般財団法人メルディア広報誌

# MELDIA

## 46

2022 JAN.

MELDIA Café #11

## MELDIA Café ONLINE & ONLIVE

布施博が訊く

文京区社会福祉協議会

福祉事業所探訪

あがた農楽園×渡良瀬会

シンガーソングライター・水越けいこ

「M size / はじまり」

福祉事業所探訪

アンメット子供教室



広報誌 MELDIA | 2022 JAN. VOL.46 | TAKE FREE

広報誌 MELDIA VOL.46 2021年11月25日発行 (隔月1回25日発行) 第46号 通巻46号  
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F



Design Your Life

MELDIA GROUP

## 三栄建築設計

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
<https://san-a.com>

OFFICIAL SNS



詳しくは、三栄建築設計公式サイトまで

同じ家は、つくらない。

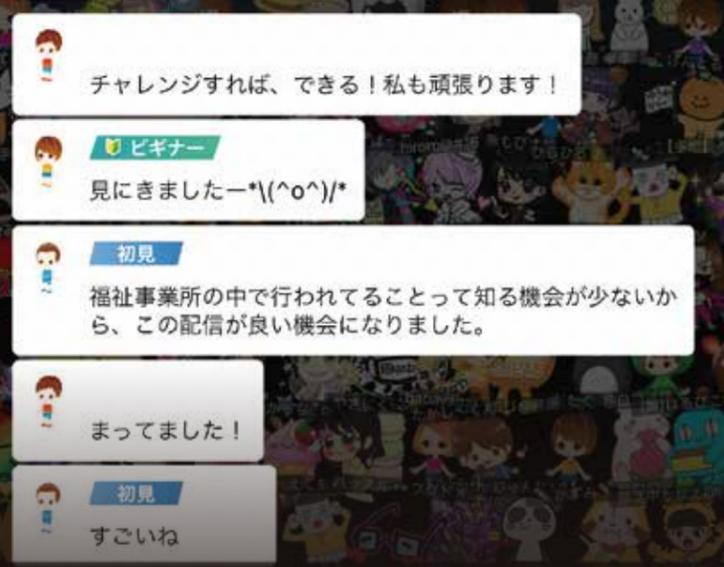
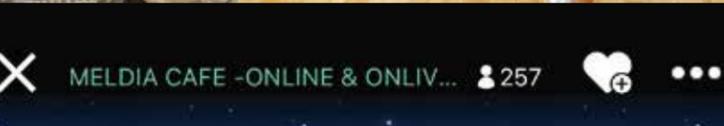




2021ベルマーレクイーン/タレント  
門上華子  
もんじょうかこ



一般財団法人メルディア主催  
MELDIA Café #11



一般財団法人  
メルディア主催

第11回MELDIA Café

MELDIA Café ONLINE & ONLIVE

「学ぶ場を創る人」  
「学びから生きる  
障がいのある人  
たちの  
「学びの場」

**実体験**

してみよう!

力を養う人たちの

*Experience a place  
of learning!*



非営利活動法人あかり/代表理事  
川岸恵子さん  
かわぎしけいこ



一般財団法人  
メルディア/事務局  
後藤正善  
ごとうまさよし



MELDIAの発行元である一般財団法人メルディアは、サッカーを行う青少年をサポートするための「青少年スポーツ支援」、障がいのある人たちの就労移行支援事業を行う「メルディアトータルサポート」、そして、障がいの当事者とそのご家族、障がい者支援に携わる人たちや団体に向けて各種の情報をお届けする広報誌・MELDIAの発行という3つの事業を柱として活動をしています。

この事業活動の一環として、不定期で開催しているのが「メルディアカフェ」です。その時々や社会情勢の変遷により催しの形態を変えつつも、11回目の開催となりました。本イベントの様子を大橋はるかがレポートします。

※画面は「SHOWROOM」アプリより/©SHOWROOM

一般財団法人メルディア主催 第11回MELDIA Café MELDIA Café ONLINE & ONLIVE



https://twitter.com/itis\_sunny



**開催時の情勢にも対応しつつ  
誰でも&どこからでも参加可**

一般財団法人メルディアが主催する「メルディアカフェ」は、障がいのある人たち、そのご家族、障がい者支援に携わる人たちや団体、本誌の読者など、障がいのあるなしに一切関わらず「誰でも」参加が出来るイベントです。  
長引くコロナ禍の影響により、感染症の拡大防止の観点から、本イベントはインターネットを用いたライブ配信形式での開催へと変更されていますが、その趣旨は変わりません。  
11回目の開催となる今回のメルディアカフェで焦点を当てるのは障がいのある人たちの「学び」に関する現状です。

皆さんは、障がいのある人たちの中には、特別支援学校を卒業後、「就労する」または「施設に入所する」という選択肢しかない人が多いという現状をご存知でしょうか？

「高等部を卒業後にも学びたい」、またはご家族らの「もっと学ばせたい」という意思や希望を実現する、大学や専門学校のような事業所が埼玉県久喜市にある「あかり学園」です。

今回のメルディアカフェでは、同学園を運営する「NPO法人あかり」の代表理事・川岸恵子さんをゲストに迎えたスペシャルトークをメインに据え、実際に出演者らが現地に赴いて収録した

**出演者が現地に赴いて実体験  
実用的かつユニークな授業群**

今回は出演者が実際に現地まで赴いて、「あかり学園」で行われている授業に参加した様子を配信するという試みも導入されました。

現地のレポーター役を努め、授業体験をして来たのは、本誌でお馴染みの大矢真那さんがプロデュースするアイドルグループ「イツッサーニー」のメンバーで、大学4年生の石成若菜さん、専門学校2年生の小竹めいさん、中学3年生の牧野凛々沙さん。3人も現役の学生ということで、この取材に披露されました。

この取材が行われたのはメルディアカフェ開催の同日で、まだデビュー前。これがメディアへの初の顔出しとのことでしたが、レポーター役はいかに？

体験は「創作ダンス」の授業からスタートです。実はこの日、いつもダンスを教えている先生がお休みとのことで、授業の内容を少し変更して、学園生の皆さんがイツッサーニーの3人にダンスを教えるという流れになったとのこと。

まずは、3つのグループに分かれ、音楽に合わせてダンスを踊る学園生らの様子を見ながら、イツッサーニーの3人が振り覚えていきます。学園生らに教わりながら、1時間弱の練習をこなす、グループごとに見事なダンスを披露してく

授業体験の様子などを配信番組の中で解説してもらおうという内容になりました。

さて、それでは早速、メルディアカフェの様子を時系列に沿ってお届けしたいと思います。MCを務めるのは2021ベルマーレレイクインの門上華子さんです。

門上さんの進行により、一般財団法人メルディア事務局・後藤正善さんが紹介され、開催の挨拶がありました。  
「本イベントは、障がいの当事者、そのご家族、障がい者支援に関わる人たちに向けて、有益な情報をお届けすることを目的として企画しています。ぜひ今回も楽しく視聴してくださいと嬉しく思います」(後藤さん)



れました。全員がとても楽しそうにダンスを踊っていて、この授業が学園生らに人気だということも頷けました。

さて、次は「テクノロジー」の授業です。取材に伺った当日はソフトバンクロボティクス社から貸与された(※)人型ロボット「Pepper」(ペッパー)を動かすためのプログラミングツール「Robo Blocks」(ロボ・ブロックス)を利用した、「あかり学園」オリジナルの授業への参観です。

「Pepper」の身体の各部分を動かすためのコマンド(命令)をパソコンに打ち込んでいく授業の様子や、パソコン画面上の仮想画面内で動く「Pepper」の様子を見学させてもらいました。



NPO 法人あかり / あかり学園・青毛キャンパス  
埼玉県久喜市青毛 2-10-32  
TEL / 0480-44-8532  
https://akari2006.or.jp/main-project/works/gakuen-aoge



※本授業はソフトバンクロボティクスの人間ロボット「Pepper」とプログラミングツール「Robo Blocks」を活用し、特定非営利法人あかりが独自に実施しています。

※編注 / 記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。

# MELDIA

## 一般財団法人メルディア

「一般財団法人メルディア」は2017年に設立されました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。



### 01 事業内容

- ①障がいの当事者、障がいのある家族を持つ人々、障がい者支援を行う団体などへの助成や支援を行う事業
- ②様々な理由や事情によりサポート(サッカー等)への参加を継続することができない児童、生徒、青少年への助成や支援を行う事業
- ③障害者総合支援法に基づいた障がい福祉サービス事業
- ④その他の事業



### 04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2021年現在、選考会を経て選ばれた9名の若者に対しての支援を行っています。2020年度の奨学生から田中聡選手が奨学生初のプロ選手として湘南ベルマーレとプロ契約し、2021年4月からトップリーグで活躍しています。



### 02 広報誌の発行

障がいの当事者、そのご家族、障がい者支援に携わる人々への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「MELDIA」を発行しています。広報誌は配置にご協力をいただける団体や事業所または店舗、配布を希望される読者に向けて毎月無料にてお届けしています。



### 03 取材活動

広報誌「メルディア」では、障がい者視線事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記事を当財団のFacebookページでも紹介していますので、そちらも併せてご覧ください。



### 05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。  
※今号ではプレゼントはありません。

ALL ABOUT MELDIA とは?

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。

誰もが人生は一度しかないものです。その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

## 財団概要

名称 一般財団法人メルディア  
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)  
所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F  
電話 03-5381-3213  
設立者 小池信三  
設立日 2017年5月23日  
URL https://meldia.org/  
MAIL org@gf-meldia.com

MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



## ゲストを迎えた特別なトーク 誰かの生きるヒントになれば

あかり学園ではイッツサニーが体験および参観した授業の他にも、実用的な授業が多くあるといえます。「洋裁」「英会話」「護身術」などの実用的な授業だけでなく、今回の「創作ダンス」と同様に「創作習字」など「ダンス」や「習字」というカテゴリに固執しない自由な発想と自由な取り組み方ができる授業などがあるのも「あかり学園」の特長です。これについて川岸さんはこう語りました。

「障がいのある人たちは学ぶ機会がとてもないと言われていて、障がいがあるがゆえに経験できていないことが非常に多い傾向にあります。彼らは、障がいがあるからできないのではなく、教えてもらったことがないからできないだけなんです(川岸さん)

非常に多彩な授業を用意している理由についてを教えてくださいました。

「ジャンルを問わず、学べるものは何でも学んで吸収して欲しい、いろんな経験をして欲しいという思いがあるからです(川岸さん)

川岸さんと後藤さんとの質疑応答や意見のやりとりが熱く交わされ、レポーターとして現地で学園生らと交流したイッツサニーの3人に

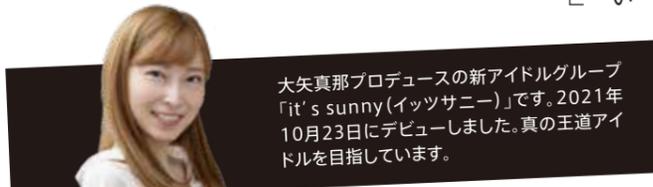
感想を聞いて、大団円を迎えました。

非常に盛りだくさんな内容だったので、全てを説明し尽くすには誌面が到底足りません。最後に、今回のメルディアカフェの総評を後藤さんにお聞きすることができました。

「障がいのある人たちが自立して生活していくにはまだまだ大変な社会ですが、NPO法人あかりさん、そして、あかり学園さんのように広く大きく手を差し伸べてくれる人たちがいるのだということがメルディアカフェの視聴や参加を通して多くの人たちに知っていただけたことができたと思います。今後も障がいの当事者と、ご家族に向けての何かヒントとなる情報を、このメルディアカフェで伝えていけたら良いなと思います(後藤さん)



「学ぶ」という機会は障がいのあるなしに関係なく誰にでもあるべきだと思いました。もっといろんなことを私も学んでいこうと思います。(牧野凛々沙)



大矢真那プロデュースの新アイドルグループ「it's sunny(イッツサニー)」です。2021年10月23日にデビューしました。真の王道アイドルを目指しています。



<http://san-office.jp/talent/itis-sunny.html>



障がいのある人たちと交流したのは初めての経験でした。知らなかったことが多く、非常に有意義な体験をさせていただきました。(石成若菜)



最初は緊張していましたが、学園生さんたちにとっても好意的に迎え入れていただいて、まるで旧知の友だちであるかのように接することができました。(小竹めい)

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保しながら、適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)

# 文京区社会福祉協議会 × 布施博

## 地域の人のつながりを 増やすことが支援の要 「親なきあと」でも 孤独にさせない絆づくり

社会福祉協議会とは「社会福祉法」に基づいて地域福祉の推進を目的として、全国、都道府県、市区町村または行政区ごとに組織されている非営利の民間団体のことだ。

各地の社協（社会福祉協議会）では、管轄地域に住む人たちが持ち込まれる困り事や相談事に対して専門のスタッフが話を聞いて、あらゆる支援を行っている組織でもある。

地域に住む人々たちによる主体的な互助によって生まれる支援の形や、多くの人たちの関心が高い「親なきあと」支援への取り組みについてを文京区社会福祉協議会の担当者に話を聞いた。

## 問題の「早期発見」のために 課題を自ら見付けに出掛ける

布施 本誌では、これまでに何度も「親なきあと」の支援について取材してきました。支援を始めたきっかけや支援内容もそれぞれでしたが、文京区社会福祉協議会ではどんな取り組みをしているのか、教えてください。

浦田 はい。これは「親なきあと」の支援にも繋がることなのですが、私たちはなるべく地域の方々と一緒に進めていくことを大事にしています。色々な専門職があっても、それだけではできないこともたくさんあるんですよね。例えば、心配してくれる近所の方だとか、家族ではないけれども温かみを持って接してくださる方たちを増やすことが重要だと感じていて、今から10年ほど前に「地域福祉コーディネーター（※1）」を配置してきました。

布施 「地域福祉コーディネーター」って、どんな支援を担うんですか？

浦田 「困ったことがあったら窓口に来てください」というのが以前のスタイルでした。でも、困っている方が自分から相談に来ることが少なかったり、そもそも課題があることに自身が気付いていなかった

りということが多く感じていました。「親なきあと」に関してもまさにそうで、本当は早めに動くことと思っはいるけれど、行動に移せないという方もいました。そこで、「地域福祉コーディネーター」という担当を置いて、こちら側から地域に出向き、問題に踏み込むことで情報をキャッチしに行くような仕組みを作りました。

布施 自分たちの方から「地域に出向こう」と思ったのはなぜですか？  
浦田 そこまでしななければ、なかなか相談にまでは繋がらないんです。現在、地域福祉コーディネーターは10名いて、地域の中に入って話をするなかで、課題を把握できたり、または課題をキャッチした人を掴んだりするということに繋がっていくようになりました。

布施 なるほど。住民同士が持つネットワークから情報が入ってくることもあるわけだ。

浦田 そうですね。住民の困り事のキャッチと、それに対して何か活動をした人たちを繋げるのも地域福祉コーディネーターという存在です。



文京区社会福祉協議会  
東京都文京区本郷4-15-14  
文京区民センター4F  
TEL / 03-3812-3040  
<https://www.bunsyakyo.or.jp/>



※1 / 2008年、厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」の報告書において、住民の地域福祉活動を支援するため、一定の圏域に専門的なコーディネーターが必要であると示された。コーディネーターは、住民間や住民と様々な関係者・機関とのネットワークづくり、地域課題の共有化し、地域課題解決のための資源開発などを実施することが求められている。  
●参照：<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/03/s0331-7.html>

# そこに行けば必ず誰かが居る 住民同士が繋る「居場所」を

布施 皆さんが行っている支援には年齢制限だとか対象年齢はあるんですか？

浦田 年齢制限はありません。また、対象となるのは赤ちゃん、お子さん、または子育て中の方、障がいのある方や高齢の方、外国の方など、支援を必要とする全ての方々です。

布施 そうでしたか。

浦田 地域に出て話を聞いてみると、ひとつの世帯でも障がいの問題や高齢の問題、子供の問題と、場合によっては全部を含んでいる場合もあるんですね。この10年ではそうした相談も全部受け入れて支援をしてきました。

布施 住民同士の繋がりを作るのは、特に都心だと難しく感じるけど。

榎本 そうですね。情報そのものが行き届きづらかったり、情報が行き交う前に、そもそも交流する機会がなかったりという課題もありました。そこで、地域福祉コーディネーターが10年前から力を入れて取り組んでいるのが、地域の「居場所づくり」です。

布施 それはどんなものなの？

榎本 区営の施設や貸会議室ではなく、空き家な



俳優 布施博

どを使った常設型の場所を週に3〜4日くらいは開けていて、そこに行けば必ず誰かが居るようにしています。これは住民の方たちの「実行委員会形式」で運営しています。

布施 そこで初めて知り合って、繋がりが出来てきたりするわけだ。

榎本 そうですね。私たちも地域には入って行くんですけど、住民の方たちと「一緒に」地域の居場所を作ると、そこへは自然と情報が集まって来ます。例えば、ご近所さんに起きた変化だとか

心配事だとかの情報が集約されることで、課題や問題の早期発見へと繋がることもあるんです。それが、すぐに支援へと結びつかないとしても、その情報に対して繋がっておくこともできるかと思えます。

浦田 「親なきあと」問題もそうですが、サービスや制度の適用だけでは限界があるんです。だから、「専門の窓口へは相談しに行きにくい」という方の場合でも、地域にある居場所の中から出てきた話から支援に繋がる可能性も非常に高いのではないかと思います。

## 地域で支える土壌を作るため 支えてくれる側も同時に支援

布施 住民からの情報で支援に繋がったという事例もあるんですか？

浦田 はい。知的障がいのある子どもと、そのご両親の家庭でしたが、ある時にお父さんが重度の認知症になってしまい、お母さんも軽度の認知症であることが分かったというケースがありました。「あの家のお父さんがいつもと違う様子で外を歩いている」という地域の方からの情報があったから分かりました。その情報が支援のきっかけになりました。布施 なるほどね。やはり地域の皆さんからもらされる情報というのは必要だよ。それで、どのように支援して行つたんですか？

浦田 その地区を担当する民生委員さん、地域の

方たち、「障害者基幹相談支援センター（※2）」の専門職にも同行してもらって何度も訪問して、まずは関係性を作ってから支援へと繋げていくことができました。

布施 なるほどねえ。最後になりましたが、この先の支援はどうあるべきだと考えますか？

浦田 専門職に就く多くは「親なきあと」支援が障がいのある方をターゲットにして支援しようとする傾向にあります。でも、時には地域を支えること、住民に対する支援も必要です。住民を支えることで、障がいのある方たちを支える土壌ができるのではないかと思います。

### 取材後記

現代では住民同士の関係性が希薄で隣家の住人の顔さえ知らないことも珍しくない。このことが、社会が抱える問題が増大へと偏向する一因にもなっているのかもしれない。

僕がまだ子どもの頃は、良い意味で「おせっかい」してくれる近所の人たちがいた。実はこれ、地域が抱えているはずの問題や課題を周囲に気付かせてくれるには大事な要素だったのかもしれない。

地域の人たち同士が繋がり、関係性を築いていくことは問題解決のためだけではない。いざ自分に何かあった時のための安心材料にも繋がっていくことだろう。

※2 / 障がい当事者やその家族のための総合的な相談窓口として、全国の市町村に設置されている施設。文京区障害者基幹相談支援センターについては本誌の45号でも取材。

※編注 / 記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

## 障がいのある人たちが 遊休農地に蒔いた種 コスモス畑の絶景が 地域の人たちを笑顔に

日本で最も古い学校とされる「足利学校」があり、鎌倉時代に建立されたと伝わる国宝の「鏝阿寺(ばんなじ)」を始めとした文化財が多く遺り、近代では「織物の町」として知られるのが栃木県南部にある足利市です。

その足利市の最南部、隣県の太田市との境にある「藤本観音山古墳」の周囲は広大な農地に満開のコスモス畑が広がっています。

このコスモス畑は、地元の農家を中心となって遊休農地や休耕地を再生することを目的に設立されたNPO法人あがた農楽園が管理と運営をしています。

コスモスの播種にはじまり、生育途上の管理など、多くの作業を地域の福祉事業所に通う利用者さんたちと同NPO法人が協力して行っているのだといいます。

NPO法人あがた農楽園

栃木県足利市

社会福祉法人渡良瀬会

栃木県足利市

### 福祉事業所の利用者らが播種 広大な敷地に咲き誇る花たち

編集 敷地いっぱいにはコスモスが咲いていますが、ここはどれくらいの広さがあるんですか？

石川 花が咲いている場所だけで約一ヘクタール(一万平方メートル)あります。

編集 広いですね。そもそも、どうしてここをコスモス畑にしようと思ったんですか？

石川 元は公園設置用の候補地でしたが、15年くらい空き地のまま置かれていた場所でした。編集 そうでしたか。

石川 空き地ではありませんでしたが、草刈りや土地の管理は行われていました。でも、単なる空き地にしておくのであれば、地域の人たちが楽しんだり喜んでくれたりする場所にできないかと考えて、渡良瀬会の利用者さんたちと一緒にコスモスの種を蒔くことにしました。

編集 今日、こうして非常に多くの人たちがコスモスを見に来まっています、皆さんとても楽しんでますよね。

石川 地域の人たちが楽しく思ってくれているのなら私たちも嬉しいですね。

編集 近隣の幼稚園や保育園に通うお子さんが先生たちに引率されてコスモスの花摘みに来ていたようですか？

石川 この日を楽しみに待ってくれていたようで、喜んでくれる子が多かったです。



編集 それは良かったですね。  
石川 例え、お花がお子さんたちの身近にあったとしても、実際に「花を摘む」という経験ってなかなかできないと思いませんか？  
編集 確かにそうかもしれません。  
石川 中には「好きなだけ花を摘んで良いなんて嬉しい」と言っているお子さんや「家に花を持って

帰って家族にあげるんだ」と言って張り切っているお子さんもいました。  
編集 ここで摘んだコスモスを家に持って帰って部屋に飾ったり、家族にプレゼントしたりすれば、誰でも嬉しい気持ちになりますよね。  
石川 そうですね。花で地域の人々が少しでも幸せな気持ちになって貰えたらと思います。



NPO法人あがた農楽園  
栃木県足利市県町1272  
TEI / 0284-71-5623  
<https://www.agatanorakuen.com/>



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)



中里巧さん  
なかざとたくみ

**障がいのある人たちの働きぶり  
「とにかく真面目で一生懸命」**

編集 利用者さんたちと一緒に農作業などをしてみて、彼らの働きぶりはどうですか？

石川 どの作業においても、彼らにはとにかく「真面目」という一言に尽きます。

編集 これまでに多くの福祉作業所などを取材してきましたが、どの利用者さんも作業に対して真面目な人が多いという印象です。

石川 そう思います。一緒に働いて



みると、どの人も態度が清々しくて気持ちの良い人たちがばかりだと気付かされるのが非常に多かったですね。

柏瀬 真摯に作業に向き合う彼らの姿を見るたびに「ああ、自分も見習わなきゃな」と思うことが何度もありました。

編集 彼らが農作業に就くようになってから顕著になった変化などはありましたか？

柏瀬 「成長したな」と感じます。現在では農作業にも慣れてきて、それぞれの役割や分担当を自分たちで決めて作業をしてくれています。

編集 最後に、この先の展望などありましたら、それをお聞かせください。

社会福祉法人渡良瀬会  
栃木県足利市葉鹿町2245  
TEL / 0284-62-8770  
<http://watarase-kai.jp/>



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしながら人的距離を確保して取材を行いました。素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)

石川 今後も、障がいのある人たちへの支援を通して、地域の人たちにも喜んでいただけるような活動を続けていきたいと思っています。

—— コスモス畑の管理に従事する渡良瀬会の利用者さんにもお話を伺いました。

編集 どんな作業を担当してたんですか？

中里 主に畑の除草作業をやりました。

編集 暑い時期の作業だったようですが、大変ではありませんでしたか？

中里 確かに、暑くて大変でした。でも、除草作業をやればやるほど畑がきれいになっていくので、とてもやりがいがありました。

編集 皆が頑張っていて育てたコスモスを大勢の人たちが見に来てくれますね。

中里 どの人も楽しそうにコスモス畑の様子を眺めてくれていて、僕らも嬉しいです。これからも多くの人たちが笑顔になるような仕事をしていきたいです。

※1 /取材日は10月14日

※2 /コミュニティ・カフェよこまち(栃木県足利市葉鹿町735-1) <http://yokomachi.watarase-kai.jp/cafe/>



**遊休農地の再生に取組みつつ  
障がい者の就労の機会も創出**

編集 「NPO法人あがた農楽園」とは、どんな活動をしている団体なんですか？

石川 足利市(あがた)地域の利用されなくなった有休農地や耕作放棄地の再生を目的として活動をしています。農園の開設と運営などしながら、地域に住む人たち、高齢者、障がいのある人たちに就労の機会と場所を提供しています。

編集 このコスモス畑でいえば、播種から管理までを地元の社会福祉法人である渡良瀬会に通う利用者さんが担っているそうですが、なぜ渡良瀬会の利用者さんらと一緒に活動をするようになったのですか？

石川 障がいのある人たちの働く場を作りたいと考えた時に、足利市内で広く障がいのある人たちの支援をしている渡良瀬会に声を掛けました。そこから始まって、渡良瀬会の利用者さんたちに私たちが運営する農園での作業をお願いするようになったんです。

編集 このコスモス畑の管理以外にも、いろんな農作物を栽培していると聞きましたが？

石川 スナップエンドウ、さつまいも、アスパラガス、じゃがいもなど、季節ごとに色々な作物を育てています。今はスナップエンドウがちょうどシーズンなので(※1)、これから収穫して11月の中旬に販売できる予定です。

編集 野菜はどこで販売をしていますか？

柏瀬 利用者さんが野菜の仕分けをして、私たちが運営している「コミュニティ・カフェよこまち(※2)」で販売しています。他にはインターネットでの販売も行っています。

石川 野菜の仕分けは比較的難しい作業だとは思いますが、渡良瀬会の利用者さんたちは責任感を持って仕上げてくれて助かっています。

編集 難しい作業なんですね。作業をしてもらう時に何か工夫をしていたりもするんですか？

柏瀬 野菜の重さを測るので、計量器の目盛にシールを貼って、ひと目でグラム数が分かるようにしたり、利用者さんが出来るだけ作業しやすくなるような工夫をしています。



NPO法人あがた農楽園  
理事長  
石川隆道さん  
いしかわたくみち

社会福祉法人渡良瀬会  
コミュニティ・センターよこまち/管理者  
柏瀬旬さん  
かしわせいじゅん

Singer-songwriter  
Keiko Mizukoshi



シンガーソングライター

## 水越けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。



水越けいこブログ  
<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



講演会は勉強会でもエンターテインメントでもありません。講演を通して、明日からを今日より健康的で文化的かつ有意義に過ごすためのアイデアとヒントを探し合う「ミーティング」であると考えます。コロナ禍を経験した私たちには、考え方や生活観、ひいては人生観にも変化があったと思います。私にも「考え方」の部分で大きな変化がありました。これからお招きいただき講演会では、その変化から生まれた感情も盛り込んでいきたいと今から意気込んでいます。

**講演の依頼を受けて思うこと 今日より明日から良く生きる**

「コロナ禍の状況が多少は改善され、規制の解除などが行われつつあるので、そろそろ来年のスケジュールを立て始めることになりました。」

その矢先、所属事務所あてに講演の依頼が持ち込まれました。以前だと、多い時には1か月に15回以上も講演会の予定が入っていたこともありましたが、しかし、ここ2年ほどはコロナ禍の影響

もあって全く予定が入りませんでした。もともと、政府や行政からの要請により、講演会などに限らず、あらゆるイベントが自粛の傾向にあります。感染症拡大防止の観点からすれば、要請と自粛は当たり前のことであつたと思えますので、それは仕方ありません。

これまでの講演会では「ダウン症」や「障がい」に関するテーマでの講演を依頼されることが多くありました。私がダウン症の息子を育てる中で経験したことや、息子に対する思い、障がい

に関する考えなどをお話しをして、最後に歌を披露するという流れにしていました。

全国各地から依頼があり、お招きをいただく人たちが団体の人たちが毎回違いました。そのため、講演会に来場されるお客さんたちが障がい者福祉に携わる人たちであつたり、障がい当事者のご家族であつたり、時には子どもたちであつたりと、それぞれに違った客層に合わせて内容も変えていかなければなりません。でも、これが新鮮で、良い意味で緊張感を持って臨むことができていました。

# Msize <sup>エムサイズ</sup> はじまり 46

水越けいこ連載

長い耐乏状況で得られたこと  
新しい考え方の「はじまり」に

長期にわたって耐乏を強いられるコロナ禍での窮屈な状況にも、ようやく収束の兆しが感じられるようになってきた昨今ですが、果たしてこの先に世界がどうなっていくのでしょうか。

まだまだ、決して余談を許さない状況であるのは間違いないと思う反面、これまでのように用心に用心を重ねるだけの生活を続けているだけでは、結果、人生が消極的になってしまつたのではないかとも思います。

私の場合、母親としてダウン症の息子・麗良(れいら)の生活をリードしている立場でもあります。自身の考え方や行動など全てが、息子の人生に対して、大きく影響を与えていくのだからと思えます。だからこそ息子には、何が正しいのか、正しいスタイルとは何なのか、それを示すのも母としての私の使命でもあると考えています。

長く続いたコロナ禍の状況下で、息子のこと、生活のこと、音楽のこと、そして自身のことなどを考えるには十分な時間がありました。その中で、「自身に起こる感情の理由」を探ってみることがあ

りました。

改めて文字にしてみると、いささか大げさですが、シンプルに言えば「出した結論をもう一度見直してみる」ということでしょうか。

職業柄とでもいいうか、これまでの私は「直観」や「ひらめき」などのインスピレーションを大切にしてきました。それが、シンガーソングライターとしての私を形成していますし、豊かな人生を送れている理由にもなっています。

しかし、コロナ禍に置かれた社会状況の中では、これまでと違った社会常識や生活様式が生まれていきました。それらに順応していくうちに、インスピレーションに頼るだけでは十分ではないと感じるようになりました。つまり、コロナ禍が起こる前と後とで考え方に大きな変化があつたことになりました。

この考え方は、新しく得た私のアイデンティティーとして抱き続けていきたいと思えます。



ミニアルバム

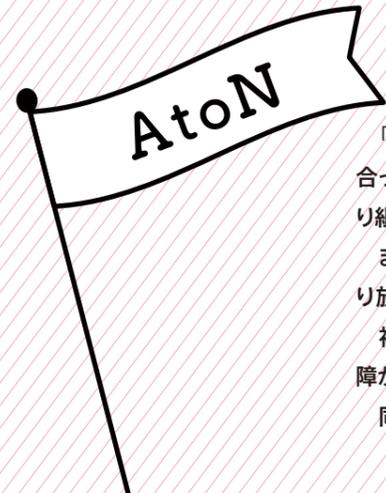
### 「Re: I love you」収録曲

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1. 蒼い涙      | 4. モノクローム         |
| 2. About me | 5. 私への誓い          |
| 3. 草原に降る雨   | 6. Re: I love you |

ミニアルバム「Re: I love you」の詳細や購入方法は「水越けいこブログ(Ameblo)」にてご確認ください。



# 10年後、20年後の 子どもたちの未来を想像し描く 「A(ア)からN(ン)」までの 全てを支援する



「療育」とは、発達などの障がいがある子どもたちに向けて、その子どもの特性に合った支援計画を実施し、発達の支援と自立、将来の社会参加をサポートしていく取り組みや支援方法のことを指します。

また、「放課後等デイサービス」とは、障がいのある児童や生徒などを、文字通り放課後に預かるサービスのことをいいます。

神奈川県川崎市中原区にある「アンメット子供教室・武蔵新城駅前校」では、主に発達障がいのある子どもたちに向けた「放課後等デイサービス」を提供している事業所です。同事業所を訪ね、支援員らに事業やサービスの概要などを伺ってきました。

## 未来を拓き社会参加を可能に 「療育」で可能性も育成する

本誌MELDIAでは既刊号で何度か記事にしていますが、ご存じでない読者もいると思いますので、取材記事の本編に入る前に「放課後等デイサービス」や「療育」とは何かを、まずは説明したいと思います。

発達に障がいのある児童や生徒、または自閉症などの子どもたちが放課後に過ごすため場所を提供するのが「放課後等デイサービス」と呼ばれる福祉サービスのことです。

単に子どもたちの放課後の居場所を提供するだけでなく、多くの事業所では独自のプログラムやカリキュラムを導入して、子どもたちの発達を支援する「療育」を行っています。

もちろん、一律な「療育」を行うのではなく、保護者やご家族の意思を尊重しながら、個々の

子どもたちが持つ特性や個性に合わせた支援を行っています。

「療育」は「発達支援」とも呼ばれ、幼少期から小学校の低学年になるくらいまでの時期に「療育」を行うことで成長や自立へと繋がりがやすいといわれます。この取り組みは「早期療育」と呼ばれています。

日常生活に必須となるスキルを得るための支援、運動や体操などを用いて身体能力を高めるための支援、挨拶や会話またはルールやマナーなど社会参加をする際に必要となることを教える支援、数字や漢字の読み書きを習得するための支援など、多岐に渡る支援を行うことが「療育」には求められる場合もあります。

また、発達障がいのある子どもの一部に発露することがあるとされる「集中力に欠ける」や「静かにじっとしていられない」「多動性」の緩和、「手先の不器用さ」の克服、「感受性が鋭い」逆に「感

受性が鈍い」場合の対処などに関することも「療育」には含まれています。

さて、「放課後等デイサービス」と「療育」に関しての簡単な説明が済んだので、今回の取材先である「アンメット子供教室」の記事本編へと進めて行きます。



アンメット子供教室／武蔵新城駅前校  
神奈川県川崎市中原区新城1-2-19  
有馬・小川共同ビル2F  
TEL / 044-982-0333  
<https://anmet.jp/>



※編注／記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。



アンメット子供教室  
武蔵新城駅前校/児童指導員  
西山知宏さん  
にしやまとひろ

### 「療育」への取り組みを聞く 障がいと個性に寄り添う支援

**編集** これまでに本誌が取材した事業所の多くでは、各種の研究報告や学説を取り入れて独自の手法で「療育」を行っている事業所が多いですが、「アンメット子供教室」では、「療育」をどのように捉えていますか？

**西山** 治療の「療」と教育の「育」で「療育」と呼ばれているのですが、そのどちらも必要であるとして私たちは捉えて支援に臨んでいます。

**斉藤** いろんな考えがあると思いますが、私たちは障がいを個性だと考えています。障がいの特

### 子どもたちの可能性を拡げて 未来を描くための支援を行う

**編集** まずは「アンメット(Anmet)」という事業所名の由来を教えてください。

**田中** アンメットの本来のスペルは「Unmet」で「満たされていない」を意味します。人々が豊かな生活をするために、まだ十分に満たされていない「何か」が必ず存在すると私たちは考えます。世の中の物やサービスの全てをカタカナの「A(ア)からN(ン)」になぞらえて「AN」として、そして「A~N」の中でさらに必要とされているモノやコトを形にしていきたい、人々の未来づくりに貢献していきたいという思いから、「アンメット(Anmet)」と命名したと聞いています。



アンメット子供教室  
武蔵新城駅前校/保育士  
斉藤亮至さん  
さいとうりょうじ

**編集** なるほど。事業所名にはそういう意味が込められていたんですね。ではなぜ、この事業所を開所する事になったのか、設立の経緯などをお聞かせください。

**田中** 「アンメット子供教室」の運営母体株式会社アンメットの代表である香月が「世の中に貢献出来る事業はないか」と模索していた頃に、既にこの事業(放課後等デイサービス)をやっていた友人から話を聞いたそうです。「放課後等デイサービス」は障がいのある子どもたちを支援するだけでなく、子どもたちが自ら自身の未来を思い描くことができるようになる事業なのだと思ったそうです。この時に「まさに自分のやりたい事はこれだ！」と思ったそうで、それが「アンメット子供教室」を開所する動機に繋がったのだと聞きました。

**編集** なるほど。では次に、こちらで展開する福祉サービスの特徴を教えてください。

**西山** 「放課後等デイサービス」においては自動車での送迎を行っている事業所も多いのですが、ここでは敢えて送迎を行わずに、保護者またはご家族に送迎をお願いしています。

**編集** その理由は何ですか？

**西山** 保護者やご家族にお会いして、その日にあった出来事やお子さんの様子などを直接お聞きする機会と時間を作るためです。



性にも寄り添いながらも、いかにすれば個性を伸ばしてあげられるのかを指導員それぞれが考えて支援に取り組んでいます。何か、乗り越えるべき課題があったとしたら、「何をどうやればそれをクリアできるのか」というプロセスに導くための支援を行っています。

**編集** 円滑な社会生活を送るうえで克服すべき事って、障がいのある人たちだけだけでなく、実は私たちにもいっぱい課されていますよね。

**斉藤** お子さんごとの課題や問題について、解決策を見つけるために指導員同

士で話し合うことが非常に多くあります。ある時に、「ご家族の方から「そういうえば、あれが出来たようになったんですよ」というような話を伺うこともあって、すごく嬉しく思いました。それが私たちのやりがいにも繋がっていると感じますね。

**編集** ご家族からのそういった声も送り迎えの時に交わすコミュニケーションがあるからこそ聞くことができるんでしょうね。では最後に、今後の展開や展望などをお聞かせください。

**西山** ここに通うお子さんたちの多くには「コミュニケーションが苦手」という悩みがあります。それを克服するために、社会性やコミュニケーション能力を高めていく「ソーシャルスキルトレーニング」に力を入れていきたいと思っています。このスキルを培って、多くの友だちと遊んで欲しいですし、将来に社会へと大きく羽ばたいて欲しいと思っています。



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)



# ググってないで俺に聞け!

## 第10回

### 強制的に治療を受けさせられるということ



北千住あすみ法律事務所  
弁護士／高野倉 勇樹

2008年弁護士登録(第二東京弁護士会所属)。盲ろう者支援、精神障害者の支援、刑事事件などを扱う。中小企業の顧問業務(契約書作成、交渉、訴訟など)も行う。最高裁判所司法研修所・刑事弁護教室所付(2014年2月～2017年2月)、東京都精神保健福祉センター法律事例検討会・法律アドバイザー(2018年～)などを経験。

熱血&硬派の弁護士が「法律」を熱く解説

## 精神科病院への「強制入院」この制度を廃止できるのか?

私は、精神障害のため精神科病院へ強制的に入院させられてしまった方の退院を支援する活動をしています。日本では、精神障害があり、自分や他の人を傷つける可能性がある場合や治療を受けさせ保護するために必要がある場合には、本人が嫌がっていても強制的に精神科病院へ入院させることができる制度があります。報道でもよく話題になる「措置入院」はこうした強制的な入院の一つです。このほか、医療保護入院と呼ばれる強

制入院や、医療観察法という法律に基づく入院もあります。

この強制入院について、日本弁護士連合会がシンポジウムを開きました。そして「精神障害のある人の尊厳の確立を求める決議」を採択しました。その決議では、「精神科病院への強制入院という制度を段階的に廃止すべきだ」とされました。この決議に対しては、様々な反応がありました。例えば、「否定的な反応が多いように思います。例えば「人権派」弁護士は医療の現場のことなど分かっている」「どうせ実際の精神科病院を見に来たこともないだろう」といった意見もありました。このような反応の原因の一つは、この決議が

精神科医療を否定しているかのように読めることだと思っています。

私は、強制入院させられた精神障害のある方に会いに行くとき、精神科病院のスタッフの方々が可能な限りの時間をいただいで話をする機会を持つようになっています。ケース会議に出席することもあります。そうした活動を通じて、スタッフの方の多くが治療のため身を粉にして頑張っておられる現状を知っているつもりです。あの決議を見て「自分たちの医療が否定された」と感じました方がいたのではないかと心配しています。この問題は、法律家と医療関係者が手を取り合い、それを国が資金と制度で支援すべきだと

私は考えています。そのために、弁護士の側も、退院に向けて日々努力している医療関係者がいることは知っている、精神科病院を悪者にしようとしているわけではない、というメッセージをもっと発信していくべきではないかと思っています。

この問題でよく指摘されるのは、「社会的入院」の部分です。医療技術が発展し、現場の医師やスタッフの努力もあって、精神障害の症状は寛解(※)していても、帰る場所がないから退院できない場合があります。これが「社会的入院」です。

これを解決するためには、地域社会が退院した精神障害者を受け入れていかなければなりません。「精神障害者は怖い」といった偏見をなくしていくことはもちろんですが、退院後に住む場所をもっと確保できるよう、国が制度を整えるべきだと思います。

現状では、退院しようとする人が普通に部屋を借りようとしても断られます。なかには、グループホームに入所するという選択肢もありますが、入所できる数に限りがあります。そもそも、精神障害者だからといってなぜ集団生活をしなければ退院できないような状況に追い込まれるのか、人間のだから(予算は別として)住むところくらい自由に決めさせるべきではないか、と私は思っています。

とはいえ、精神障害に対する地域社会の理解を広めることは、大変に難しいことです。先の決議に反発していた人は、そうはいつでもこの問題に

関心を持ってくれているので、話し合うことができます。一番難しいのは、無関心な人に関心を持ってもらうことです。そのために炎上狙いで過激な主張をしても反感を呼ぶだけです。こうした記事を見た人が、周りの方に「社会的入院という問題があるみたいだよ」と話をしていくといった具合に、少しずつ少しずつ、輪を広げていくしかないのでしょう。

明治時代、精神障害者は外界と隔絶された部屋などに幽閉されていたことがありました。精神科病院ができてから、ようやく外界に出ることができた人もいました。次は「社会に」出て行くべき時です。解決策はあるはずですよ。

※寛解(かんかい)／病気の症状や微候などの一部または全部が軽快した状態を指す。見かけ上では正常な機能を取り戻した状態のこと。

※編注／記事中の表現は著者本人の意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。



## 北千住あすみ法律事務所

東京都足立区千住仲町40-3  
グラン・パレ北千住101  
TEL / 03-6812-0742  
<https://kitasenju-asumi.com/>



いまさら聞けないあんなこと

# 福祉の疑問に答えます!

メルディアトータルサポート

## #1 障害者手帳ってなんだろう?



いまさら聞けない疑問を  
わかりやすくお伝えします

障害福祉に携わっていると当事者の方や保護者の方など様々な方々からご質問をいただきます。質問にお答えするときに間違ったことをお答えするわけにはいかないので、確認のために調べていると障害福祉の制度や仕組みに関しては、専門的な言葉が多く使われていることもあり、なかなか分かりにくいことが多いと実感します。このコーナーではいただいたご質問や、障害福祉サービスに取り組み中でお伝えしたほうが良いと感じたことを、出来る限り解りやすくお伝えしていければと思います。

### メルディアトータルサポート上野

永野周平 (ながのしゅうへい)  
一般財団法人メルディア  
就労移行支援事業所メルディアトータルサポート上野  
マネージャー

台東区上野で社会参加に向けてトレーニングに取り組む方々へ、支援活動を行っています。これから社会に出ようと思う方、社会復帰したいけど不安だなと思う方、相談というはじめての一步を踏み出してみませんか。

「障がいがあれば障害者手帳を持っていて当たり前」こんな風に思っている方もいるかもしれません。実は障害者手帳は障がい者として行政の基準に合致することを前提として、本人が求めた場合に交付されるもので、持っているのが当たり前とは必ずしも言えないものなのです。もちろん交付を受ければ様々な行政サービスや福祉サービスを受けられますので、必要な方は取得すれば生活に多くメリットがあります。就職を考える場合には特にメリットが大きくあり、障がい者雇用枠での就職を目指すことで、必要な合理的配慮を受けやすくなります。日常的なことでもいくと、美術館が無料や割引になる制度なんかもあるんです。

障害者手帳には3種類が存在します。身体障がいの方を対象とした「身体障害者手帳」、知的障がいの方を対象とした「療育手帳」、精神障がいの方を対象とした「精神保健福祉手帳」です。

身体障害者手帳には原則として更新期限はありません。状態が大きく変わった場合には再認定を受けることとなります。

療育手帳では各自治体によって年齢に応じた再認定のタイミングが決まっています。成人して以降は大きく変わることが少ないため多くの自治体では再認定までの期間が長くなります。

精神保健福祉手帳は二年に一度更新が必要です。精神疾患は他の障がい比べ、状態の回復や悪化などの変化が大きく起きやすいからです。

### 手帳の等級ってなんだろう 等級が違うと何が違うの?

障害者手帳には主治医や療育センターでの判定による障がいの程度を示す等級があります。療育手帳(愛の手帳)については、東京都ホームページを調べると、1度(最重度)から4度(軽度)までの区分が記載されています。

1度(最重度)では、「生活全般にわたり常時個別の援助が必要となります。」とされており、4度(軽度)では「日常生活に差し支えない程度に身の事柄を理解できますが、新しい事態や時や場所に応じた対応は不十分です。」とされています。

同じ障がいの中でも出来ることや出来ないこと、必要な援助がその方によって違うので、それをあらわすためにつけられているのが等級です。

精神障がいの場合には、1級から3級の区分がされていて、1級が最も重く、3級が最も軽いという区分になっています。

1級の場合には「日常生活の用を弁ずることが出来ない程度のもので」と日常生活がままならない状態の方となっており、3級では「日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもので」となっています。3級の場合には一定の援助や配慮を受けることで社会生活が送れるということになります。

障害者手帳を取得する、しない、障害者手帳を用いてサービスを受ける、受けない、といったことに迷われる方、悩まれる方やご家族も多いと思います。

障害福祉サービスに携わる立場から考えると、生活の向上や社会参加に向けて、受けられるサービスは存分に利用して、より良い社会生活を多くの人に送ってほしいと思っています。様々な施策や関わる人々の努力のおかげで、障がい者に対する社会の考えは少しずつ変わり、共生社会が着実に浸透してきていると思います。多くの方がより良い社会生活を送れるように、このコーナーでも微力ながらお手伝いが出ればと思っています。

MELDIA Total Support  
メルディアトータルサポート

メルディアトータルサポート上野  
東京都台東区上野 6-2-14 喜久屋ビル 3F  
TEL / 03-6284-4180  
<https://meldia.org/mts/>



### 疑問 & 質問を大募集!

福祉に関すること、障がいに関すること、その他の疑問や質問など、なんでもご相談ください。

受付 mail [org@gf-meldia.com](mailto:org@gf-meldia.com)

永野あて

Support you!

## 障がい者支援事業 2つの障がい者支援

### 情報発信

障がいのある子どもを育てる親や保護者らを支援することを目的として、障がい福祉関連情報の発信と、障がいに関する社会的認知向上に寄与するべく広報誌「MELDIA」を発行しています。

広報誌「MELDIA」は、障がいのある子ども、その子を育てる親や保護者、障がいの当事者らに有益な情報を提供すること、支援団体などに対する寄付を一般企業や個人から募ることを目的に発行しています。



### 直接支援

——あなたの「不安」を「可能性」に変えたい。

私たちメルディアでは、「職業能力評価」や「就労訓練」を通じて一緒に悩みや問題を解決し「働くこと」への不安を払拭するためのお手伝いをしたいと考えます。

できることを知り、できることを増やし、自身がやりたいことに取り組める未来を実現するための直接支援が提供できるよう、新たな直接支援サービス「メルディアトータルサポート」を開設し、安心して就労に向かうためのサポートを行なっています。



## 青少年スポーツ支援事業

### 奨学制度

一般財団法人メルディアでは、個々が置かれている事情、経済的な理由からプロ選手を目指すことを諦めざるを得ない児童、生徒、青少年らの「夢」の実現を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。

2020年度の奨学生の中でもユース時代から活躍してきた田中聡選手が、初のプロ選手として「湘南ベルマーレ」とプロ契約を果たしました。田中聡選手は2021年4月からトップリーグで活躍しています。



©SHONAN BELLMARE

## 一般財団法人メルディア

名称／一般財団法人メルディア  
 (英文名: general foundational juridical person MELDIA)  
 設立者／小池信三  
 設立日／2017年5月23日

所在地／東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
 電話／03-5381-3213  
 URL／<https://meldia.org/>  
 MAIL／[org@gf-meldia.com](mailto:org@gf-meldia.com)

ABOUT MELDIA

一般財団法人メルディア  
 Meldia Foundation

# MELDIA

人と社会と福祉を

つなぐ

明るい未来の  
 実現を目指して。

## 一般財団法人メルディアの理念

一般財団法人メルディアは、障がいのある人たちを支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童や青少年を支援する活動をしています。

これらの支援活動や各種の事業を通して、社会と、そこで暮らす人たちに広く貢献をすることを目的として2017年5月に設立された一般財団法人です。

財団設立の理念と目的に則した助成や支援の事業をはじめ、障がい福祉サービスなども提供しています。

## 一般財団法人メルディアの事業内容

01 障がいの当事者、障がいのある家族を持つ人たち、障がい者支援を行う団体などへの助成や支援をする事業。

02 様々な理由や事情によりスポーツ(サッカー等)への参加を継続することができない児童、生徒、青少年への助成や支援をする事業。

03 障害者総合支援法に基づいた障がい福祉サービス事業。

04 その他、一般財団法人メルディアの法人設立の理念と目的を達成するために必要とする事業。

## Recruitment & Notice from Meldia

# 各種の募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

### 広報誌「MELDIA」 定期購読希望者募集

広報誌「MELDIA」はフリーペーパーです。定期購読をご希望の場合に送料無料で指定の住所まで発送をしています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。



定期購読のお申し込みはこちらから

<https://meldia.org/subscription/>

※本誌の個別発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼しています。個別発送のタイミングにより、到着が遅れる場合がございます事をご了承ください。

### 広報誌「MELDIA」 常設置拠点募集

一般財団法人メルディア(以下、当財団)では、広報誌「MELDIA」(以下、本誌)の常設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所の提供をお願いしています。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

### 一般財団法人メルディアへの 寄付を募集しています

一般財団法人メルディアでは、私共の設立趣旨にご理解を頂いて事業の展開をご支援頂ける皆さまからの寄附を募集しています。



寄付の受付はこちらから

#### 01 一般財団法人メルディアの 事業目的

当法人は、障がいのある方を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献することを目的とした事業を行っています。

#### 04 寄附金額

10,000円以上任意

#### 02 寄附金の使途

お寄せいただきました寄附金は、当財団が行う各事業に活用させていただきます。本誌上にて定期的にご報告いたします。

#### 05 税制上の優遇措置について

当財団は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号)」に基づいて設立された一般財団法人です。非営利型法人ではありませんが、寄附金は法に定める特定寄附金に該当しないため、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象とはなりません。ご理解とご承知のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

#### 03 寄附金の募集期間

随時

#### 06 寄附のお申込受付について

ご支援いただける場合は下記に記載のURLにある「寄付申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、受付登録をお願いいたします。追って、お振込み口座などの詳細について連絡を差し上げます。指定口座への入金のご確認ができ次第、「寄附金領収証」を発行し送付いたします。



<https://meldia.org/donation/>

#### お問い合わせはこちら

#### 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
一般財団法人メルディア 事務局/担当:後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て  
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com



広報誌メルディアは、より良い情報をお届けするために、広くみなさまの声を聞かせたいと考えております。左にあるQRコードからアンケートにご回答いただき、率直なご意見、ご感想をお聞かせください。

#### ホームページとFacebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話などの情報を掲載しています。Facebookページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。

MELDIA

<https://meldia.org/>



facebook

<https://www.facebook.com/gf.meldia/>



## 広報誌の発行と取材活動

### 広報誌 MELDIA

一般財団法人メルディアが理念として掲げる「障がいのある人たちとご家族を支援する活動」の一環として、障がいに関するあらゆる情報の発信源となるよう、また、多くの人たちの情報交換の場としての役目を担えるようにと、2017年11月に広報誌「MELDIA」を創刊し、継続発行をしています。

### 取材活動

広報誌「MELDIA」では、障がいのある人たち、ご家族、障がい者支援を行う事業所や団体、積極的に障がい者雇用を推進している企業などを取材しています。

障がい、障がい者支援に関することなどの社会的認知度向上の一助となるよう各地で取材活動を行い情報発信をしています。



### 広報誌の発行

広報誌「MELDIA」は、障がいのある人(障がいの当事者)と、ご家族、障がい者支援を行う皆さまに対して有益な情報をお届けするための媒体として発行しているフリーペーパーです。広報誌は配置にご協力をいただける団体や事業所または店舗、配布を希望される読者に向けて毎号無料にてお届けしています。



## サッカー観戦チケットプレゼント

サッカーJリーグの開催期間中、メルディアグループがスポンサードする「湘南ベルマーレ」のホームスタジアムで行われる試合のペア観戦チケットをプレゼントしています。

療育手帳または精神障害者保険福祉手帳をお持ちの当事者と、その介助者、2名1組で「湘南ベルマーレ」の試合をホームスタジアムで観戦することができます。

▶▶ 観戦チケットプレゼントの詳細は本誌のP30にて



# 湘南ベルマーレ ホームゲーム

## 観戦チケットプレゼント



©SHONAN BELLMARE

### ■ホームゲーム一覧

療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、介添者の方1名を湘南ベルマーレのホームゲームに抽選でご招待いたします！

現在、シーズンオフ期間につき、「ホームゲーム観戦チケットプレゼント」をお休みさせていただきます。2022年のJリーグ公式戦の開催日程が決定したら、改めてお知らせいたします。お楽しみに！

※詳細は一般財団法人メルディアのHPにてご確認ください  
<https://meldia.org/>

### 青少年スポーツ支援事業の貢献に 日本サッカー協会 (JFA) から表彰!

人と社会と福祉を「つなぐ」をメッセージに掲げる、一般財団法人メルディア(東京都新宿区、代表理事:小池信三)は、2017年5月の設立以降、障がい者支援事業と青少年スポーツ支援事業の二つの事業を通じて、社会に貢献することを目的として取り組んでまいりました。

この度、当財団の青少年スポーツ支援事業の日本サッカー界への貢献が認められ、公益財団法人日本サッカー協会(JFA)から「日本サッカー協会100周年表彰」における「各地域での活動を含めて日本サッカー界に多大な助成や支援、協力を頂いた個人及び団体」として、感謝表彰を受賞いたしました。

詳しくはこちら▶

<https://meldia.org/infos/1069/>



### ■応募から観戦までのステップ

STEP 1

応募

HPの応募フォームへ必要事項をご入力



応募フォームはこちら

[https://meldia.org/bel\\_present/](https://meldia.org/bel_present/)

ホームページからも応募できます

財団 メルディア 🔍 検索

STEP 2

メール

応募完了メールが届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話くださいますようお願いいたします。

STEP 3

抽選

当選者へメールでご案内いたします

当選者の方へ当選メールを送信します。メール内でチケットの受け渡し方法についてご案内します。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP 4

観戦

スタジアムへGO!

どうぞご観戦をお楽しみください!



※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

### ACCESS

レモンガススタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレHPをご覧ください



JR東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南ICより湘南銀河大橋、国道129号線経由で約15分(国道129号線に随時「総合公園へ」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

### ■お問い合わせ先■

一般財団法人メルディア 事務局 担当:鷺坂(さぎさか)

TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日～金曜日 9:30～18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承くださいませ。

## 01 MELDIA Café #11 MELDIA Café ONLINE & ONLIVE

## 06 メルディアの基本理念、財団概要、支援事業 一般財団法人メルディアとは?

## 07 文京区社会福祉協議会×布施博 布施博が訊く

## 11 NPO法人あがた農楽園×社会福祉法人渡良瀬会 福祉事業所探訪

## 15 水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る 水越けいこ連載「M size / はじまり」

## 17 アンメット子供教室 武蔵新城駅前校 福祉事業所探訪

## 21 北千住あすみ法律事務所/弁護士・高野倉勇樹 ググってないで俺に聞け!

## 23 メルディアトータルサポート上野/永野周平 いまさら聞けないあんなこと 福祉の疑問に答えます!

## 25 財団の理念と事業 一般財団法人メルディア

## 28 各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ 募集と告知

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、政府ならびに東京都によるガイドラインを遵守し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を十分に確保しながら取材を行っています。また、取材中はマスクやマウスシールドを装着のうえ、飛沫防止用のアクリル板などを設置し、適時に換気しながら取材を行っています。取材者および被取材者の安全と健康に配慮して一部にオンライン方式を導入して取材を行っています。(MELDIA編集部)



# 46 MELDIA 2022 JAN. CONTENTS

広報誌MELDIA Vol.46 / 2021年11月25日発行

発行元	／	一般財団法人メルディア
発行人	／	小池信三
事務局	／	榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章、永野周平
編集	／	株式会社サン・オフィス
編集人	／	東宮恵美
編集長	／	山口市市
制作進行	／	谷田貝亘介
編集部	／	株式会社サン・オフィス
ライター	／	水越けいこ、布施博、大矢真那、高野倉勇樹、森清香、大橋はるか、小林景子
カメラマン	／	吉岡晋、江村伸雄
ヘアメイク	／	株式会社Dharma
デザイン	／	有限会社フレッシュ・アド
印刷製本	／	タイハイ株式会社
協力	／	MELDIA GROUP 株式会社三栄建築設計、NPO法人あかり、あかり学園・青毛キャンパスのみなさん、文京区社会福祉協議会、NPO法人あがた農楽園、社会福祉法人渡良瀬会、アンメット子供教室・武蔵新城駅前校、メルディアトータルサポート上野、北千住あすみ法律事務所、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、株式会社Dharma、カレントシュパース、江村写真

※敬称略/順不同



編集部Twitter  
<https://twitter.com/MELDIAEdition/>

本誌の無断転載・複製を禁じます  
2017-2021©All Rights Reserved.  
一般財団法人メルディア / 広報誌MELDIA  
MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計  
**SAN OFFICE**

## 次号予告 MELDIA vol.47

2022年1月25日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632  
東京都新宿区西新宿 1-25-1  
新宿センタービル 32F  
一般財団法人メルディア 事務局  
TEL: 03-5381-3213